

# 「勇気づけのピアノレッスン」

No.9

今月も、読者のみなさまからいただいたご質問にお答えしたいと思います。  
6月号でも触れましたが、リクエストが一番多い「練習しない子どもについて」の part.1 です。

**Q**「子どもがなかなか練習をしません。自分から進んで練習する子になってほしいのですが、どうすれば良いでしょうか。」

**A** 何と言っても指導者と保護者の悩みのナンバーワンはこれですね。6月号では「練習しない理由をまず聞いてあげてください。」とご提案しました。が、そもそも、私たちはなぜこんなにも子どもたちに練習をさせたいのでしょうか？ それを改めて考えてみませんか？

## ＝なんのためのピアノ教育？＝

我が子にピアノを習わせたいと思ったのは、なぜでしょうか？ 指導者の方はピアノを通して、何を子どもたちに学んで欲しいとお考えですか？ 子どもがただ単にピアノを弾けるようになることだけが目的ですか？ ピアノさえうまく弾けるようになればそれで良いと思っている保護者や指導者の方はおそらくいらっやらないでしょう。みな、音楽を学ぶことを通して、何かを学び、何かを得て欲しいと思っているのではないのでしょうか？ ピアノを習得することによって、多くの素晴らしい経験ができることは間違いありません。でもここで今一度、子どもにピアノを習わせている目的や意味をしっかりと考えただければと思うのです。答えは一つではありません。それぞれの思いがあって良いのです。この機会にじっくり考えていただけたら幸いです。

## ＝「ピアノを習わせることで、子どもにどんな力をつけたいか」を考えてみませんか＝

「せっかくお金をかけて習わしているのだから、毎日たくさん練習して上手になってほしい」誰もがそう思うことでしょう。そして「上手になるために練習は不可欠。」それは疑いようのない事実ですね。それを望むのは、保護者、指導者として当然と言えば当然のこととも思います。さて、ではここで改めてお尋ねします。子どもに「なぜそんなに練習しなきゃいけないの？」と聞かれたら、あなたならどう答えますか？ 子どもが自ら練習に励むようになることを望むのであれば、この質問に子どもが納得いくよう、答えられるようになりたいものですね。では、次回もこのことについて一緒に考えていきましょう。

松井美香

音楽家・音楽指導者・教育カウンセラー・勇気づけマスター・「藤沢勇気づけの会」代表

<Facebook> <https://www.facebook.com/mika.matsui.94>

<ブログ>「勇気づけ100のアプローチ」で子どもと親の「自己肯定感」を育てる松井美香音楽教室 URL : <http://ameblo.jp/makeachangewithlove/>

## ★みなさまに愛されて18年★

# 人気のピアノ曲集『ピアノ★パレード』が 全6巻に生まれ変わりました

コンクールの課題曲、レッスンでの人気曲はそのままに。  
さらに現代の子どもたちに人気のある新曲を追加しました。

ピアノパレード6改訂版 <新曲>  
いつか王子様がくるみ割り人形…etc

ピアノパレード5改訂版 <新曲>  
レット・イット・ゴー(「アナと雪の女王」より)  
名探偵コナンのテーマ…etc



1・2巻はそのまま!



改訂版3・4巻  
発売中



改訂版5・6巻  
発売中

■本体価格：各1,200円(税別) ■体裁：各菊判／2C・1C

Web版もあるよ  
バックナンバーが閲覧できる!  
ウェブならではの情報が満載!

# 学研 おんがく通信

11月号

2014年10月25日

Gakken  
(株)学研パブリッシング 音楽出版事業室  
〒141-8412 東京都品川区西五反田2-11-8  
Tel. 03-6431-1220

学研 おんがく.net <http://gakken-publishing.jp/ongaku/> 学研 電子ストア <http://ebook.gakken.jp/gstore/>

秋になりました。私の〇〇の秋は“勉強の秋”となりそうです。ピアノの勉強は7月号の突き指の話から少々上達しています。(自己判断です。)  
皆さんの“〇〇の秋”はなんですか?(お)

## 『ロシア音楽のひみつ』公開講座レポート

去る9月4日、10月6日に東京・五反田にある学研ビルで『ロシア音楽のひみつ』公開講座を行いました。講師は、ウクライナ出身のピアニスト、ナターリア・ユルカーノヴァ先生。流暢な日本語で、パワフルかつユーモア溢れるトーク・レクチャーでした。担当(の)がその様子をレポートいたします♪

### 第1回

#### ロシア音楽の誕生(19世紀以前)～キエフ・ルーシ

[2014年9月4日開催]

内容は、19世紀以前のロシアの歴史が中心。そのほか、ロシアで誕生した楽器や、他国で生まれロシアで活躍した楽器なども、映像や楽しい冗談を交えてご紹介いただきました。

担当(の)が印象に残っているお話は、「ロジキ」と呼ばれる木製のスプーンの紹介。一般家庭の食卓でもよく見かけるごく普通のスプーンなのですが、なんと楽器として使用することもあるのです。片手に2本のロジキを持って反対の手で叩いたり、両手に数本を持って身体中を叩いたりして、音を出す模様。ロジキ奏者のなかには、全身にロジキをくっつけて叩きまくる(!?)という、見た目にもインパクトあるパフォーマンスをする演奏家もいるそうです。思わぬ演奏法に、会場には笑いが広がりました。

色鮮やかな木模様が特徴  
Lozhki

### ナターリア・ユルカーノヴァ先生ってどんなひと?

ウクライナ国立チャイコフスキー記念音楽院をピアノ専攻で卒業され、数々の国際ピアノ・コンクールで入賞、また審査員を務められています。もちろんピアニスト、ピアノ指導者としても活躍されています。来年は日本でもコンサートを予定しているとか。おんがく通信でもご案内いたします♪



### 第2回

#### ロシアのソルフェージュについて

[2014年10月6日開催]

前半は、ロシアの音楽教育について、ナターリア先生のご経験を踏まえて、お話いただきました。小学生の頃は、学校の授業を終えた後、早々と帰宅して昼食を食べ、音楽学校へ向かうそう。ピアノやソルフェージュの授業を受けた後は、帰宅して自主練習やイメージ・トレーニングを…。子どもの頃からハード・スケジュールをこなしていたそうです。後半は、J.S.バッハ《平均律クラヴィア曲集》第1集より、プレリュード&フーガ BWV846 の分析。ロシア音楽学者のボレスラフ・ヤヴォルスキー(1877-1942)の研究によると、全48曲の各曲に登場するモチーフや音程は、21のシンボル(動機)に分類されるとのこと。これは、聖書に記されている行動を表しているのだそうです。一部のシンボルをご紹介しますと、バスの下行は歩く様子(速いテンポの下行は走る様子)、♪のリズムは元気な様子、短7度の下行は心の痛みや老いた様子を表しているようです。とても興味深い分析で、受講者のみなさんも感心されていました。先生の模範演奏にも圧倒されました!

### ★次回のご案内★ 第3回 ロシアのピアニズム

すぐに実践できるロシア・ピアニズムのポイントをお話いたします。ピアノ指導者、演奏家向けの内容です。日々の音楽活動にぜひお役立て下さい。※当日申込可

【日時】2014年11月7日(金) 11:00～12:00(受付10:40)  
【会場】学研ビル 3F ホールA(五反田駅から徒歩5分) 【受講料】1,800円(税込)  
【内容】リズムについて/音楽の形式/ダイナミクスについて/  
芸術的なペダルの踏み方/ロシア音楽のイントネーション etc  
【問合せ】学研パブリッシング 音楽・実用書事業室  
Tel:03-6431-1221(担当:野村) お気軽に問合せください♪

## ピアノの森から

\*田丸信明先生のすてきなオリジナル曲をご紹介します\*

### 第6回

現在改訂を進めている「ピアノの森」、第4巻はお手に取っていただけたでしょうか?収録曲が増え、入れ替わった曲もあり…ですがシリーズの魅力は変わりません♪憧れの名曲、子どもたちが喜ぶ新曲の数々をぜひお試ください。そして続く第5巻に収録される田丸先生の最新曲が「わすれな草」。小曲ですがブルーの小花の愛らしさ、また名前の由来となった切ない伝説…と様々なシーンを感じる事ができます。余談ですが、新しい表紙にわすれな草が描かれているかも…?(か)

編集部のつぶやいたー!

秋においては、甘くて大好きです。  
週末には、どんぐりやきれいな落ち葉をひろいこごう。(いも)

Tsubuyaitter..... follow me!

twitter [@gakken\\_music](https://twitter.com/gakken_music) 日々のよしなしごとや最新情報をツイートしています!



今月は、先月号に引き続いて「おんぶ」のセミナーから【せんのおうた】をご紹介します。(右下参照)

レッスンでは、子どもたちがこの歌を歌いながら、「大譜表マット」の上を歩く!...ということで、セミナーでも、受講者の方に体験していただいています。歌にすると、不思議と難しい言葉や単語も覚えてしまうものですね。「それれふあら どみ それれふあら」という語呂も難なくクリアです。

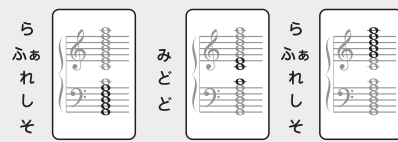
【せんのおうた】の楽譜は未公開...セミナー会場で何度も歌いますので、簡単に覚えてしまいますが、あかね先生の想いは、「先生方にオリジナルの曲を作ってほしい」ということ。

「生徒さんは、「先生がみんなのために、オリジナルで作ってくれた」というライブ感に感動するもの。ピアノ指導の知識をお持ちなら、必ずできるので、頑張ってください!」とあかね先生。「世界にひとつだけの曲」にぜひトライしてみてくださいね。(いも)

\*「おんぶ」のセミナー: 楽しくおぼえる「おんぶ」のレッスン〜大譜表の「おんぶカード」を使って〜



●せんグループ (「みんなだいすき!おんぶカード」より)



♪せんのおうた

せん せん おんぶの おうた  
 したから うたおう げんきよく  
 それれ ふあら  
 どみ  
 それれ ふあら  
 じょうずに できた

※「かんのおうた」もあります

Lento

大人のレッスン

Lesson.3



黒田篤志 くらだ・あつし

1973年生まれ。早稲田大学修士課程修了。日本アマチュアピアノコンクール7位入賞。出版社にて楽譜と書籍の編集を担当。現在小山市で、大人のピアノ教室「Lento レント」を主宰するかわら、フリーの編集者、ピアニストとして活動中。  
<http://ameblo.jp/pianote0519/>

1曲仕上げるのは大変なことです。ピアノを始めて間もない大人の方は、どこから手をつけようかわからず、長くかかりそうな練習に臆してしまうことも多いでしょう。

私は「曲の最初から最後まである程度のテンポで統一感をもって弾きとおすこと」ができたとき、「曲が仕上がった」と考えるようにしています。そのための段階的な方法を、大人の方にはお伝えするようにしています。

まず、曲全体の形式をお話しします。そのさい、曲はABAで構成されていることにします。音楽の形式はいろいろありますし、前奏やコーダを伴う場合もありますから、この単純化はやり過ぎかもしれません。しかし、なるべく少ない原則で形式を説明することが、とくに大人の場合は大切だと考えています。

つぎに、ストーリーを一緒に考えます。ポイントは「起承転結」。物語の進め方もいろいろですが、あえてこれに従います。たとえば「水戸黄門」のあるシリーズでもいいし、勝手に創作した「恋愛物語」でもかまいません。「こんなストーリーはいかが?」と投げかけ、最終的にはご自身が大切にしている過去の物語と重ね合わせてイメージを作ってもらいます。

ちなみに、そのイメージを、根掘り葉掘り伺うことは控えます。

恥ずかしいかもしれませんが。

黒田篤志

なお、形式とストーリーとをからめるならば、Aが「起承」、Bが「転」、Aに戻って終わりが「結」です。

「曲を仕上げる」には、音を正しく弾くことが条件であることは確かです。そのせいか、ピアノの練習は、正しい鍵盤を下げることから始めると考えられがちではないでしょうか。しかし、大人の方やピアノに不慣れな方がそこから入ってしまうと、木ばかり見て森から抜け出せない状況に陥ってしまいます。どんなに短い曲でも、練習にはある程度の日数がかかりますから、つらくなってしまいますよね。

曲全体の枠組みを把握してもらい、曲の各部分を1本の線でつなげてもらえば、見通しを立てやすくなります。そして1本の線は、その方にとって大切な物語ですから、個性をベースにした統一感を、曲にまとわせることができるのではないのでしょうか。

こうした取り組みから始めることで、攻略法がハッキリするだけでなく、練習のためのモチベーションも持続させることができるはずです。

パジル先生の  
すぐできる

アレクサンダー・テクニーク

特別編



【オザワ部長レポート】

パジル先生の吹奏楽指導レッスン! <前編>

アレクサンダー・テクニーク講師のパジル先生が、学研主催で去る8月29日に渋谷・トート音楽院にて吹奏楽指導の特別講座を行いました。レッスンタイトルは「脱・根性論! 吹奏楽指導でHAPPYに!」。この模様を、大人気ツイッター&単行本シリーズ『みんなのあるある吹奏楽部』著者の「オザワ部長」がまとめてくださいましたので、2回に分けてご紹介します。

今年5月発行の『吹奏楽部員のためのココロとカラダの相談室 吹奏楽指導編』(学研パブリッシング)では、オザワ部長も対談取材などで参加しています。この本は吹奏楽部顧問の先生方だけでなく、講師・コーチ、上級生、演奏家といった人たちにとって非常に役立つ本です。そこで今回のレッスンは、「本に書かれている指導法を体感したい」「もっとアレクサンダー・テクニークのことを知りたい」といった声に応えたものでした。当日は、16名の方が受講しました。クラリネット・ホルン・サクソ・オーボエなど楽器持参での参加も目立ちました。オザワ部長もソプラノサクソを持って参加&取材しました。

さて、今回のレッスンですが、前半は吹奏楽指導のために行うべき「6つのアクション」のお話でした。



- (1) 望むこと...どうしたいのかを考える。
- (2) 認識すること...現状はどうであるのかを知る。
- (3) 決断すること...どうしていくのかを決める。
- (4) 情報収集...決断を実現するために情報を集める。
- (5) 新しいプランを作る...情報収集を踏まえた具体的な戦略を決める。
- (6) その気にさせる...プラン実行への最後のひと押し。

この(1)から(6)までのプロセスを順番に生徒たちがクリアしていくよう、サポートするのが指導者に必要とされること。「これはアレクサンダー・テクニークのプロセスですけど、とても普遍的なプロセスでもあります」とパジル先生がおっしゃるとおり、吹奏楽以外の指導、あるいはビジネスにも応用できそうですね。(実践指導例を紹介する続きは次号で!)

取材・撮影・文/オザワ部長

ツイッター【みんなのあるある吹奏楽部】 <https://mobile.twitter.com/SuisouAruaru>  
 ブログ【みんなのあるある吹奏楽部】 <http://ameblo.jp/suisougakubu-aruaru/>

●既刊も好評発売中!●

『パジル先生の吹奏楽部員のための  
ココロとカラダの相談室』  
 楽器演奏編・メンタルガイド編・吹奏楽指導編  
 ■各:B5判/104頁/本体価格1,500円(税別)  
 楽器演奏編とメンタルガイド編は  
 たしかめシートつき!!  
 <アレクサンダー・テクニークについて>  
<http://www.alexandertechnique.co.jp/>  
 <パジル先生のブログ>  
<http://basilkritzer.jp/>

つむりの  
練習手帳

先週の日曜日、ウチに調律の人が来ました。2時間くらいピアノをいろんな風に弾いて帰っていきました。調律の間は音がピヨンピヨンしたりしてキモチ悪かったけど、終わったら、なんだかつむりのピアノがステキに聞こえるような気がするなあ。でもリズムがへたっぴなのはどうしようもなくガッカリです。残念。(トホホお兄)

- つむり現在の楽譜  
 ☆こどものハノン④  
 ☆プレ・インベンジョン  
 ☆びあのだりーむ  
 フルグミュラー 25の練習曲  
 ☆ル・クーペ  
 ピアノのアルファベット(ABC)

編集部チョイスおすすめの1曲

小さな世界 (R.M. シャーマン&R.B. シャーマン)  
 レベル:★★☆☆

子どもたちが大好きな  
 ディズニーランドのアトラクション  
 「イッツ・ア・スモールワールド」の  
 テーマ曲です。  
 易しくて楽しい伴奏付き!(編曲:加賀美江)



掲載楽譜  
 ピアノ★バレード2

